



TITLE:

編集後記・編集委員・購読要項・
投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記・編集委員・購読要項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1977, 23(6):
636-636

ISSUE DATE:

1977-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122111>

RIGHT:

編集後記

前号の編集後記で赤坂名誉教授のご所属を昭和医大としたりした。もちろん昭和大学医学部のまちがいであり、旧校名を用いた失礼をふかくおわび申しあげる。

日本語のもつあいまいさが混乱をひきおこした事例をあげよう。諸学会の抄録集には、発表者にたいする注意事項が記載されているが、スライド枚数について、しばしば「スライドは2面、左右共10枚以内」とかかかれている。これでは左右あわせて10枚なのか、左右それぞれ10枚なのかが明瞭ではない。演者のなかには、左5枚右5枚のスライドを準備される方もあろう。英語であれば、このようなあいまいさは生じないであろう。かといって筆者は日本語が論理性を欠くといっているのではない。適当な表現によって、完全な理解を求めることは日本語においても容易である。病歴誌を自国語で記載しないのは、文化的先進国では日本だけであろうし、学会のスライドも英語のものが多くなってきた。医学の世界で、日本語はかなり冷遇されつづけている。文化的な営みのなかで、自国語が軽視されるということは好ましいことではない。(T.T.)

編集委員

石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
園田 孝夫 友吉 唯夫 (副主幹) 吉田 修 (主幹)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。ただし合併号を出すことがあります。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投稿内規(1969年1月改正)

1. 原稿の種類は総説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿器科紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けはいたしません。
11. 原稿送りは、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第23巻 第6号 1977年8月25日 印刷 1977年8月31日 発行
創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤二 定価 500円(送料別)
発行 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
